

116A – フォンテーヌブローの森で火災

すでに森林の5%が焼失

セーヌ＝エ＝マルヌ県にあるフォンテーヌブローの森で大規模な森林火災が発生しました。わずか数時間で1,000ヘクタール以上が焼失し、森林全体の約5%が被害を受けました。今回初めて、パリ近郊でカナディア（水陸両用消防飛行機）が消火活動に投入されました。

約500人の消防士が現場で消火活動を行っています。しかし、森林には岩場が多く、消防車が近づけない場所もあるため、長いホースを設置しなければならず、作業は非常に困難です。さらに、風によって火の勢いが強まり、延焼が続いています。

火は木だけでなく、地中でも燃え続けています。根や泥炭が長時間燃焼するため、火災の再発を防ぐことが難しく、消防士の作業も複雑になっています。

ヘリコプターからは、森林のさまざまな場所で煙が立ち上っている様子が確認されました。カナディアはセーヌ川で水を補給し、その後、火災現場に戻って放水を行っています。パリ近郊の住民にとって、このような大規模火災を身近で見ることは大きな衝撃となっています。

内務大臣は捜査の開始を発表しました。約1,000メートルの範囲で10か所ほど出火地点が見つかっており、放火の可能性があると考えられています。

現在も各地から消防隊が応援に駆けつけています。状況が完全に落ち着くまでは、安全のため、一部の森林区域への立ち入りを控えるよう呼びかけられています。

116B – 7 月 14 日のドローンショー、 最後のリハーサル

フランス革命記念日の前日、エッフェル塔周辺では大規模なショーの最終準備が行われています。今年は、伝統的な花火大会に 1,600 機のドローンが加わり、夜空にさまざまな図形を描きます。このショーはパリだけでなく、世界の大都市にも敬意を表す内容となっています。

最終リハーサルは深夜に行われ、すべてのドローンが正常に動作するか確認されました。主催者にとって最大の課題の一つは、ショーの間ずっとエッフェル塔をライトアップしたままにすることです。例年は花火の開始時に消灯し、終了後に再点灯しますが、今年は塔の照明も演出の一部になります。

1,600 機のドローンには、これまでよりはるかに明るいライトが搭載されています。一方で、花火の準備も進められており、高温の中、多くの技術者がエッフェル塔の高所で作業を続けています。

7 月 14 日の夜には、ドローンと花火が同時に打ち上げられます。ドローンはニューヨークの自由の女神やローマのコロッセオなど、有名な建造物を夜空に描く予定です。

専門家の中には、今後のショーではドローンがさらに重要な役割を果たすようになると思います。ドローンは非常に精密な演出が可能で、従来の花火より環境への影響が少ないと考えられています。

7 月 14 日のショーは、毎年多くの人々が楽しみにしているフランスを代表するイベントの一つです。

Questionnaire

1. すでに何ヘクタールの森林が焼失しましたか。
 2. なぜ消防士たちの作業は特に困難なのですか。
 3. なぜ火は地中でも燃え続けるのですか。
 4. なぜ捜査が開始されたのですか。
 5. 当局は散歩をする人々に何を呼びかけていますか。
-
1. 7月14日のショーには何機のドローンが参加しますか。
 2. 今年、主催者にとって最大の課題は何ですか。
 3. 技術者たちはエッフェル塔で何を準備していますか。
 4. なぜ専門家は、今後ドローンがますます使われるようになると考えているのですか。
 5. ショーではどのような有名な建造物が表現されますか。